

授業科目名	助産診断・技術学 (2300265)		
時間割名	助産診断・技術学 (70225)		
時間割担当	美甘祥子		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

1. 産婦の分娩経過や胎児の状態が、正常であるか否かについて独自に判断するための基礎的知識を学ぶ。
2. 産婦や家族にとって安全で満足度の高い分娩となるよう分娩期の助産過程の展開に必要な基本を習得する。
3. 異常分娩時の介補と産婦への援助について理解する。
4. 正常分娩の介助方法の原理について理解を深め、分娩介助時の技術や出生直後の新生児のケアを習得する。

学習の到達目標

1. 産婦の分娩経過や胎児の状態が正常か否かについて判断できる
2. 安全安楽な分娩が遂行できる助産過程展開に必要な基礎的知識と技術を習得する
3. 正常分娩介助方法と出産直後の新生児への助産技術を習得する
4. 異常分娩時の介補と産婦への援助方法を説明できる

授業方法・形式

講義（一部演習）

授業計画

- 第1回 分娩の3要素
- 第2回 正常な分娩経過の診断
- 第3回 娩出力と回旋の異常
- 第3回 分娩経過の診断とそのケア 1 分娩開始の診断、入院時のケア
- 第4回 分娩経過の診断とそのケア 2 分娩第1期の分娩経過の診断、胎児の健康状態の診断、母子への心身のケア
- 第5回 分娩経過の診断とそのケア 3 分娩第2期の分娩経過の診断、胎児の健康状態の診断、母子への心身のケア
- 第6回 分娩経過の診断とそのケア 4 胎児の娩出直後から分娩第4期までの診断とケア
- 第7回 分娩の誘発と促進の原理とそのケア
- 第8回 産痛緩和の原理とそのケア
- 第9回 事例を用いた助産過程の展開 1 母体の診断（分娩開始、分娩時期、分娩進行）
- 第10回 事例を用いた助産過程の展開 2 胎児の診断（胎児、胎児付属物）
- 第11回 事例を用いた助産過程の展開 3 正常からの逸脱の診断、心理的・社会的・発達の診断、分娩予測
- 第12回 分娩介助技術 1
- 第14回 分娩介助技術 2
- 第15回 分娩介助技術 3

成績評価の基準

定期試験90%、質疑応答・授業へのリフレクション10%

準備学習・復習及び授業時間外の課題

復習は必ず行い、わからないところは解決してから次の授業に臨むようにしましょう。また、分娩介助技術の習得には自己学習が必要です。

履修上のアドバイス及び留意点

母子が安全な分娩ができるには、助産診断・助産技術の確実な習得が必要であり、助産師にはその社会的責務があります。その意識を常に持ち、毎回の授業に真摯に取り組んでください。

教材・教科書

我部山キヨ子編、助産学講座7 助産診断・技術学 [2]分娩期・産褥期、医学書院

参考書

石村由利子編、根拠と事故防止からみた母性看護技術、医学書院
 町浦美智子編、助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア、日本看護協会出版会
 医療情報科学研究所編、病気が見える vol.10 産科、メディックメディア
 日本産婦人科学会編、産婦人科診療ガイドライン 産科編2017、日本産婦人科学会
 日本助産診断・実践研究会編、マタニティ診断ガイドブック、医学書院